

授業概要

教職課程履修者で、免許取得に必要な科目をすべて修得し、かつ教育実習を終了した学生を対象とした授業である。

教職課程の各科目の履修により習得した専門的知識や技能、及び教育実習の体験を踏まえ、教師としての資質・能力の総体について考え、それを身につけていく授業である。また教育現場で対応できる実践的なスキルを習得する。授業は講義、演習のほか、フィールドワーク等も取り入れる。

なお、最終回には、各自が設定したテーマについて探求した結果の発表会を行う。

授業計画

第1回	教職実践演習の趣旨、授業計画の説明、履修カルテの記入
第2回	教育実習のまとめと課題の整理① 「実習の目標」の振り返り
第3回	教育実習のまとめと課題の整理② 教科指導・教科活動の振り返り
第4回	教育実習のまとめと課題の整理③ 教科指導・教科活動以外の教育活動についての振り返り
第5回	実習レポートの完成と、今後の課題の点検
第6回	教育関係者による講演会
第7回	自らの課題を克服するための研究テーマの設定
第8回	教員に求められる資質の探求① コミュニケーション能力の育成
第9回	教員に求められる資質の探求② 生徒指導の様々な事例の研究
第10回	教員に求められる資質の探求③ カウンセリングの現状についての理解
第11回	各自が設定した研究テーマの研究の進捗状況の報告
第12回	教員に求められる資質の探求④ 教科指導の不得意領域の確認とその克服方法
第13回	教員に求められる資質の探求⑤ 教科指導の不得意領域の確認と改善策
第14回	課題を解決した授業指導案作成
第15回	課題を解決した授業指導案による模擬授業
第16回	研究発表会・履修カルテの完成

到達目標

以下の各項目について、自らの資質・能力を向上させることを目標とする。

- ・使命感や責任感、教育的愛情等
- ・社会性や対人関係能力
- ・生徒理解や学級経営等に関する事項
- ・チームとしての学校への対応等
- ・教科の指導力

履修上の注意

第1回のガイダンス授業の際に、授業方法・評価方法・予習・復習について詳細に説明する。成績評価に関わる内容であるため必ず出席すること。なお、第1回目の授業に出席できない特別な理由がある場合（あった場合）には申し出て、配布資料を必ず受け取ること。

予習・復習

予習：各回における、「実習の手引き」、学習指導要領、生徒指導提要の該当箇所を精読する。

復習：毎回の授業で出題された課題を確認する。

評価方法

受講態度 50%・提出物の内容 10%・発表会の評価 40%を基本とし、総合的な観点から評価を行う。

教職に関する科目のため、成績評価は厳しい態度で行う。なお、履修者の状況によっては中間テストを行う場合がある。評価方法の詳細は、第1回のガイダンス授業で説明する。

テキスト

「介護等体験の手引き」、「教育実習の手引き」、「介護等体験記録ノート」、「教育実習記録」その他、毎時間、授業資料・プリントを配布する。